

令和4年度

# 事業報告書



公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部

# 令和4年度事業報告

## I 組織と運営の状況

### 1. 監査会・運営委員会・幹事会について

開催日	会議名	会場	主な内容
令和4年 5月23日	監査会	埼玉教育会館	・令和3年度事業報告並びに決算報告に関する件
令和4年 5月26日	第134回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和3年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件
令和4年 5月30日	第224回 幹事会	埼玉教育会館	・令和3年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件 ・教育研究助成事業規程及び教育文化事業規程の運用について承認する件
令和4年 10月31日	監査会	埼玉教育会館	・令和4年度上半期事業報告並びに決算報告に関する件
令和4年 11月25日	第135回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和4年度上半期事業報告並びに決算報告の承認に関する件
令和4年 11月28日	第225回 幹事会	埼玉教育会館	・令和4年度上半期事業報告並びに決算報告の承認に関する件 ・令和4年度「教育研究助成事業」及び「教育文化事業」に係る選考委員会での選考結果の決議に関する件
令和5年 3月10日	第136回 運営委員会	埼玉教育会館	・令和4年度補正予算案の承認に関する件 ・令和5年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・幹事・監査の選任に関する件
令和5年 3月14日	第226回 幹事会	埼玉教育会館	・令和4年度「教育研究助成」のうち「はばたき」応援プロジェクトに係る選考委員会での選考結果の決議に関する件 ・令和4年度補正予算案の承認に関する件 ・令和5年度事業計画案並びに収支予算案の承認に関する件 ・運営委員の選出に関する件 ・役員を選任に関する件

### 2. 教育振興事業選考委員会について

奨学金の貸与・給付及び研究・実践活動への助成等、教育振興事業の適正な執行を図るため、委員会において、必要な事項について審査・選考を行いました。

資料 1 「令和3年度・令和4年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿」参照

開催日	会議名	会場	主な内容
令和4年 5月11日	第1回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和4年度上期貸与奨学生の審査・選考
令和4年 6月27日	第2回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和4年度教育研究助成事業及び教育文化事業の審査・選考
令和4年 7月27日	第3回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和4年度高校生の奨学金給付事業(前期募集)の審査・選考
令和4年 11月9日	第4回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和5年度「大学給付奨学生(予約型)」の第一次審査・選考(書類)
令和4年 12月15日	第5回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和5年度「大学給付奨学生(予約型)」の第二次審査・選考(面接) ・令和4年度「はばたき」応援プロジェクトの審査・選考
令和5年 3月13日	第6回教育振興事業選考委員会	埼玉教育会館	・令和4年度下期貸与奨学生の審査・選考 ・令和4年度高校生及び中学生奨学金給付事業の審査・選考

### 3. 教育実践報告審査委員会について

本県教育の向上発展に寄与するため、個人(グループ)または学校を対象として実践に基づく教育実践報告を募集し、委員会において、審査・選考を行いました。

資料 2 「令和4年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿」参照

開催日	会議名	会場	主な内容
令和4年 9月9日	第1回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和4年度教育実践報告審査及び選考方法について
令和4年 10月11日	第2回教育実践報告審査委員会	埼玉教育会館	令和4年度教育実践報告審査・選考
令和4年 11月30日	教育実践報告表彰式	埼玉教育会館	令和4年度教育実践報告受賞者表彰式

### 4. 生涯学習実践作文審査委員会について

県民(埼玉県在住・在勤)を対象に生涯学習に対する実践作文を募集し、委員会において、審査・選考を行いました。

資料 3 「令和3年度・令和4年度 生涯学習実践作文審査委員会 委員名簿」参照

開催日	会議名	会場	主な内容
令和4年 9月6日	第1回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和4年度生涯学習実践作文審査及び選考方法について
令和4年 10月6日	第2回生涯学習実践作文審査委員会	埼玉教育会館	令和4年度生涯学習実践作文審査・選考
令和4年 11月30日	生涯学習実践作文表彰式	埼玉教育会館	令和4年度生涯学習実践作文受賞者表彰式

## II 教育振興事業

### 1. 奨学事業

#### (1) 貸与事業

大学等に進学する県内在住者に奨学資金として100万円まで無利息で貸与し、卒業後8年以内、(ただし貸与金が100万円の場合は10年以内)の年賦で返還する奨学事業を下記のとおり行いました。

貸与を希望する適格者全員に貸与いたしました。

(貸与奨学金事業は、日教弘本部の事業ですので、決算書には記載しておりません)

#### ① 貸与の状況

年度		前年度末貸与	当年度貸与	当年度返還	年度末貸与者
令和4年度	人数	288名	26名	完済 30名	284名
	金額	192,658,934円	21,750,000円	35,103,004円	179,302,930円
令和3年度	人数	326名	20名	完済 58名	288名
	金額	214,528,762円	18,250,000円	40,122,828円	192,655,934円

#### ② 奨学生の学校種別状況

年度	令和4年度		令和3年度	
	人数	金額	人数	金額
大学	23名	20,250,000円	20名	18,250,000円
その他	3名	1,500,000円	0名	0円
合計	26名	21,750,000円	20名	18,250,000円

## (2) 給付事業

本県に所在する国公立高等学校・特別支援学校・中学校・中等教育学校に在学する生徒で、原則として以下のア、イ、ウに該当する者に、選考のうえ返還を要しない奨学金を給付します。また、令和5年度よりエ、大学給付奨学生(予約型)を行います。

ア、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または、②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援を受けているが、生活が困窮している家庭の子どもで、修学の意欲が旺盛で、高等学校等へ進学する中学3年生のうち校長から推薦のあった者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人5万円ずつ、337名に1,685万円を給付しました。

年度	令和4年度	令和3年度
人数	337名	337名
金額	1,685万円	1,685万円

イ、家庭の経済環境が悪化(新型コロナウイルス感染症の影響も含む)し、学資金の支払い等が困難になっているが、修学意欲が旺盛な高等学校第2・3学年の生徒(定時制・通信制課程においては相当学年)のうち、校長から推薦のあった者を対象とします。なお、生徒の家庭においては、公的な支援を受けているものとします。特別支援学校にあつては、上記の条件に準ずる者とします。

審査・選考のうえ、1人10万円ずつ、148名に1,480万円を給付しました。

年度	令和4年度	令和3年度
人数	148名	198名
金額	1,480万円	1,980万円

※令和4年度は推薦条件を一部変更しています。

ウ、保護者が①死亡等により両方または片方がおらず、または②病気(交通事故等による怪我も含む)で就労が難しく、①、②のいずれかのため、公的支援等を受けているが、修学意欲が旺盛で、更に上級学校(国公立大学・短期大学・専修学校専門課程)へ進学する成績優秀な(評定平均値3.8以上)高等学校第3学年(定時制・通信制については相当学年)の生徒のうち、校長から推薦のあった者を対象とします。特別支援学校にあつては、上記の学校に準ずる者を対象としました。

審査・選考のうえ、1人20万円ずつ、74名に1,480万円を給付しました。

年度	令和4年度	令和3年度
人数	74名	94名
金額	1,480万円	1,880万円

エ、令和5年度から、修学意欲がありながら学資金の支払いが特に困難と認められる者に対して、返還義務のない奨学金(奨学生一人に対して月額3万円4年間で144万円)を給付し、大学への進学及び修学の継続を支援する、大学給付奨学生(予約型)を実施します。令和4年度は審査・選考により採用内定者8名を決定しました。

## 2. 教育研究助成事業

学校教育の充実・発展に寄与するため、以下の事業を行いました。

### (1) 教育実践報告への助成

教育に関する実践報告を、県内の学校・教育機関の個人(グループを含む)または学校を対象として募集し、理事長が委嘱する「教育実践報告審査委員会」で審査・選考のうえ、優れたものに助成金を贈り表彰しました。令和3年度から実施の若手教職員(年齢35歳未満の教職員等)を対象とした「ヤング部門」も含め「一般部門」「学校部門」と3つの部門としました。

なお、募集については令和4年4月1日付け文書及び参事によるポスター配付、「教弘会報埼玉」等による広報を行いました。

#### 応募状況

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
令和4年度	ヤング	16	7	0	3	0	26
	一般	17 (グループ1含む)	4	2	3	0	26
	学校	2	4	0	0	0	6
	合計	35	15	2	6	0	58

		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
令和3年度	ヤング	15	7	2	5	0	29
	一般	12 (グループ2含む)	4	2	3	0	21
	学校	6	2	0	1	0	9
	合計	33	13	4	9	0	59

#### 助成状況

助成件数 51件 助成金額 1,666,850円

### (2) 学校課題研究への助成

#### 助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和4年度	694	336	24	14	11	1,079	4,396万円
令和3年度	546	274	10	8	11	849	3,491万円

※学校課題研究は、令和3年度までの学校研究助成と「学び合い高め合い」支援事業を統合したもので、申請条件を一部変更しています。

### (3) 環境教育支援事業

#### 助成状況

学校種別 年度	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和4年度	323	121	7	1	9	461	1,688万円
令和3年度	339	119	3	1	10	472	1,469万円

#### (4) 国際理解教育支援事業

##### 助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和4年度	31	17	9	0	1	58	223万円
令和3年度	35	13	15	1	1	65	210万円

#### (5) キャリア教育支援事業

##### 助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和4年度	39	64	16	2	1	122	457万円
令和3年度	23	53	16	2	0	94	305万円

#### (6) 防災教育支援事業

##### 助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和4年度	74	46	5	3	3	131	487万円
令和3年度	62	34	1	4	1	102	325万円

#### (7) ICT活用教育支援事業

##### 助成状況

年度 \ 学校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	幼稚園等	合計	助成金額
令和4年度	293	118	11	8	0	430	1,549万円
令和3年度	256	115	11	6	1	389	1,218万円

#### (8) 「研究・実践成果報告集11」の刊行

教育研究助成事業の助成対象校(学校課題研究・環境教育・国際理解教育・キャリア教育・防災教育・ICT活用教育)の優れた研究・実践をまとめ、学校・教育機関等に計1,850部配付し、教育の振興に寄与しました。

#### (9) 交通安全教育への助成

児童・生徒の交通安全教育の推進に貢献するため「弘済会埼玉交通安全推進会」へ10万円の助成を行いました。

#### (10) 連合教育研究会等への助成

##### 助成状況

令和4年度	41団体	663万円
令和3年度	47団体	755万円

#### (11) 全国・関東ブロック研究大会への助成

##### 助成状況

令和4年度	2団体	15万円
令和3年度	9団体	105万円

## (12)教育関係団体への助成

助成状況

令和4年度	26団体	589万円
令和3年度	29団体	648万円

### 教育関係助成団体一覧

No.	団体名	No.	団体名
1	埼玉県公立小学校校長会	14	埼玉県高等学校教職員組合
2	埼玉県中学校校長会	15	埼玉県高等学校定時制通信制校長会
3	埼玉県高等学校長協会	16	埼玉県事務主幹・事務主査会
4	埼玉県公立小中学校教頭会	17	埼玉県公立小中学校事務職員研究協議会
5	埼玉県高等学校等副校長・教頭会	18	埼玉県養護教諭会
6	埼玉県公立高等学校事務職員会	19	埼玉県学校保健主事会
7	埼玉県公立小・中学校女性校長会	20	埼玉県特別支援学級等設置校校長会
8	埼玉県公立小・中学校女性教頭会	21	埼玉県学校栄養士研究会
9	埼玉県特別支援学校校長会	22	埼玉県高等学校等女性管理職の会
10	埼玉県公立学校事務長会	23	埼玉教職員組合
11	さいたま市中学校校長会	24	さいたま教育文化研究所
12	埼玉県特別支援学校副校長・教頭会	25	埼玉県国公立幼稚園・こども園長会
13	埼玉県教職員組合	26	埼玉県町村教育長会

## (13)教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会の開催

埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会、埼玉県都市教育長協議会及び埼玉県町村教育長会の後援の下、埼玉県教育の充実・発展に寄与することを目的として教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会を下記の通り開催しました。

- 期 日 令和4年10月25日(火)
- 会 場 さいたま市文化センター 大ホール
- 演 題 小惑星探査機「はやぶさ2」の挑戦
- 講 師 JAXA 宇宙科学研究所教授・「はやぶさ2」プロジェクトマネージャ 津田 雄一 氏

## (14)公益財団法人日本教育公務員弘済会の「日教弘教育賞」募集への協力

研究実践論文3編を推薦しました。3編とも「奨励賞」を受賞しました。

## (15)公益財団法人東京海上日動教育振興基金の教育研究論文募集への協力

教育研究論文9編を推薦しました。9編とも「採択」されました。

## (16)「はばたき」応援プロジェクトの実施

小学校6年生の卒業に向けた特色ある取組等への支援として助成しました。

助成状況

令和4年度	77校	231万円
令和3年度	88校	264万円

(17)新設校への助成(助成は株式会社 埼玉教弘)

令和4年度新設校 行田市立忍小学校、行田市立見沼小学校、久喜市立菖蒲中学校、埼玉県立騎西特別支援学校北本分校、越谷市立蒲生小学校、埼玉県立上尾特別支援学校上尾南分校、埼玉県立春日部特別支援学校宮代分校に記念品を贈呈しました。

3. 教育文化事業

(1)生涯学習実践作文の募集

テーマ SDGs ～私にできる身近な取組～

募集 募集案内の県内教育機関等への配布及びHP等での広報  
応募・助成状況

	応募数	助成数	助成金額
令和4年度	17編	13件	381,370円
令和3年度	22編	14件	411,370円

(2)教育文化講演会(地域教育研究会主催)に対する助成

助成状況

令和4年度	3団体	34万円
令和3年度	9団体	106.5万円

(3)教育文化推進事業団体(学校応援団含む)への助成

助成状況

令和4年度	24団体	138万円
令和3年度	29団体	162万円

(4)「弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフル コンサート」への助成

助成状況

令和4年度	13校	4,806,276円
令和3年度	13校	4,868,600円

※演奏使用料を含む

(5)教弘文庫の刊行と贈呈

令和3年度に地域教育研究会等が実施した「教育文化講演会」の講演要旨、並びに「教育実践報告」「生涯学習実践作文」から優れた実践報告・実践作文を集録した教弘文庫を刊行し、各学校・教育機関等へ贈呈しました。

刊行物	刊行部数	刊行日
教弘文庫115 「教育文化講演集37」	4,000部	4月22日
教弘文庫116 「教育実践報告集53」	2,200部	4月22日
教弘文庫117 「生涯学習実践作文集32」 生涯学習の実践 ～Withコロナ時代 私にできること～	15,500部	4月22日

※ 教弘文庫116「教育実践報告集53」は教育研究助成事業となります。



### Ⅲ 福祉事業

#### 1. 福利厚生

##### (1) 厚生施設利用の促進

紀州鉄道・リステル・東急ハーヴェストクラブの法人会員権に基づく利用券を効率的に活用し、宿泊等福利厚生施設の広報に努め、利用の促進を図りました。

利用人数

	令和4年度	令和3年度
紀州鉄道	226名	191名
リステル	42名	26名
東急ハーヴェスト	86名	91名
合計	354名	308名

##### (2) 宿泊施設等の利用と補助

広報誌等を通して、協定している旅館・民宿等の利用促進に努めました。

利用人数

	令和4年度			令和3年度		
	本人	家族	合計	本人	家族	合計
埼玉支部協定施設	167名	121名	288名	136名	43名	179名
日教弘指定施設	75名	27名	102名	41名	10名	51名
合計	242名	148名	390名	177名	53名	230名

補助人数

金額		年度	令和4年度	令和3年度
教弘保険加入者	3,000円		130名	124名
教弘保険加入者 (7月～8月利用者)	5,000円※		112名	53名
合計			242名	177名

※令和2年度から7月～8月の2ヶ月間のみ、協定施設を利用する教弘保険加入者は、1泊につき補助額を2,000円増額し5,000円としました。

補助額 950,000円

#### 2. 生涯福祉推進事業

- (1) 小・中・高・特支の校長会代表と弘済会との「教職員の生涯福祉を考える教育懇談会」を7月21日(木)、埼玉教育会館に於いて、新型コロナウイルス感染対策を実施し開催しました。
- (2) 介護福祉施設(ALSOK介護(株))の紹介事業を行っています。

### 3. 祝品・記念品の贈呈

#### (1) 教弘保険新規加入者への記念品の贈呈(図書カード)(助成は株式会社 埼玉教弘)

教弘保険新規加入者(10口以上)の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和4年度	令和3年度
人数	853名	866名

贈呈額 840,205円

#### (2) 教弘保険継続者への記念品の贈呈(図書カード)(助成は株式会社 埼玉教弘)

教弘保険継続者(5年・10年・15年・20年・25年・30年)の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	5年	10年	15年	20年	25年	30年	合計
令和4年度	1,044名	888名	600名	123名	190名	312名	3,157名
令和3年度	995名	804名	576名	103名	270名	313名	3,061名

贈呈額 6,219,290円

#### (3) 友の会入会記念品の贈呈(商品券)(助成は株式会社 埼玉教弘)

退職し教弘保険を継続した方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和4年度	令和3年度
人数	868名	909名

贈呈額 2,604,000円

#### (4) 結婚祝品の贈呈(商品券)

結婚された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和4年度	令和3年度
人数	472名	550名

贈呈額 2,360,000円

#### (5) 出産祝品の贈呈(図書カード)

お子さんが誕生された教弘保険加入者の方に記念品を贈呈しました。

贈呈人数

	令和4年度	令和3年度
人数	690名	758名

贈呈額 2,038,950円

#### 4. 健康保持増進

##### (1) 人間ドック受診者への補助

###### ① 現職教弘保険加入者

人間ドック・婦人科検診または脳ドックを受診した教弘保険加入者には、その1種類(年度内1回)について、個人負担金の一部を基準により補助しました。

補助人数

年度 金額	令和4年度	令和3年度
5,000円	3,880名	3,952名
3,000円	1,376名	1,506名
2,000円	54名	67名
その他	153名	191名
合計	5,463名	5,716名

###### ② 退職教弘保険加入者(友の会会員)

友の会会員が、人間ドックまたは脳ドックを受診したときに、年度内で1回に限り5,000円の補助をしました。

補助人数

	令和4年度	令和3年度
人数	2,736名	2,693名

①+② 補助額 37,630,501円

##### (2) 大腸がん予防検診等の実施

退職教弘保険加入者とその家族を対象に、一般財団法人日本健康増進財団の「大腸がん検査」、「前立腺がん検査」、「ピロリ菌抗体検査」、「ペプシノゲン検査(胃)」を案内し、のべ530人が受診しました。

##### (3) ウオーキング(歩け歩け)運動への参加支援

当支部が埼玉県ウオーキング協会の賛助会員となり、教職員の歩け歩け運動への参加による健康づくりを支援しました。

##### (4) サッカー観戦チケット、映画鑑賞券の贈呈

現職の教弘保険加入者(10口以上)にサッカーJリーグ浦和レッズ観戦チケット及びイオンシネマ、ユナイテッドシネマ映画鑑賞券を申込抽選により贈呈しました。

また、友の会会員にも映画鑑賞券を抽選により贈呈しました。

贈呈人数

	浦和レッズ観戦	イオンシネマ	ユナイテッドシネマ	合計
合計	13名	75名	75名	163名

贈呈額 606,200円

## 5. 弘済会埼玉友の会活動の推進

超高齢社会にあつて、退職後の生活設計は一層重要となっています。退職後どう生きるか、どのような生き甲斐を見つけるか、共に考え、活動しました。

### (1) 組織

退職後も継続した教弘保険加入者で組織し、本部と支部が一体となって活動を進めました。

令和5年1月現在、14支部、764班、(世話人694人)、会員14,435人です。うち、準会員は321人です。

### (2) 運営・活動

コロナ禍のため、全県世話人会を午後のみで開催として3年ぶりに実施しました。幹事会は規模を縮小して実施しました。支部総会は9支部で実施(5支部は紙上総会や役員会に変更)しました。また、常任幹事会は広い会場で実施しました。

開催日	会議名	場所
令和4年5月17日	全県世話人会	埼玉会館小ホール
令和4年7月20日	幹事会(規模縮小)	埼玉教育会館
令和4年6月2日	北足立南支部総会	ジブラルタ生命保険(株)川口営業所
令和4年6月1日	北足立中支部総会	埼玉教育会館
令和4年5月28日	大宮支部総会	さいたま市高鼻コミュニティセンター
令和4年6月6日	北足立北支部総会	上尾市文化センター
令和4年6月4日	入間東支部総会	クラッセ川越
令和4年5月31日	入間西支部総会(役員会に変更)	飯能市富士見地区行政センター
令和4年6月6日	比企支部総会	東松山市松山市民活動センター
令和4年5月27日	秩父支部総会	(書面評決)
令和4年6月4日	児玉支部総会	(紙上総会)
令和4年6月12日	大里東支部総会(世話人会に変更)	熊谷市立江南総合文化会館(ピピア)
令和4年5月27日	大里西支部総会	深谷市男女共同参画推進センター
令和4年6月1日	北埼玉支部総会	(紙上審議)
令和4年6月23日	埼玉葛南支部総会	春日部市民文化会館
令和4年6月10日	埼玉葛北支部総会	久喜総合文化会館
令和5年1月26日	常任幹事会	埼玉教育会館

### (3) 助成

支部組織の運営充実のため下記の助成を行いました。

助成金種類	助成金額
支部運営費助成金	2,714,680円
支部総会助成金	980,000円
「友の会だより」配付助成金	2,498,332円
クラブ活動費助成金	50,000円
支部名簿作成助成金	140,000円
支部会報発行助成金	100,000円
支部保険相談会等開催助成金	50,000円

## 6. 弔慰金

死亡された教弘保険加入者180名の方へ生花と弔電またはご香料を贈ることにより弔慰を表しました。

合計額 1,854,000円

## 7. (株) ツヴァイとの提携による結婚紹介

(株)ツヴァイと法人契約を結び、当支部会員及びその家族が入会するときに、入会時初期費用が11,000円割引となります。令和4年度末現在697名(累計)の方が入会され、306名の方が成婚等に至り退会しています。当支部には加入者の性別・年代のみ通知されることになっており、加入者のプライバシーは厳重に守られています。

## 8. 損害保険事業

教職員にとって必要かつ有意義な補償内容の下記保険商品の普及に努めました。

- (1) 教弘まなびやスーパープラン
- (2) 教弘フルガード
- (3) 教職員収入ロングウェイサポート

## IV 共済事業（提携保険事業）

教弘保険の普及拡大が、教育の振興及び教育関係者の福祉向上に多大な貢献をしていることを踏まえ、その加入促進に努めるため、当支部の趣旨及び事業に賛同する会員の拡大を図ります。

なお業務は、提携保険会社及び株式会社埼玉教弘に委託しています。(別紙 参考)

## V 参事の活動

15名の参事が地区を分担し、学校や地区校長会等において、当支部の諸事業やジブラルタ生命の状況を説明し、弘済会及びその事業に対する教職員の理解と支持を得るよう努めています。またジブラルタ生命との相互の協力体制の確立を目指して、ジブラルタ生命学校担当営業職員(LC)の活動しやすい環境づくりに継続して取り組みました。

学校での事業説明会(資料配付含む)を513回、校長会等で172回、合計685回実施し、事業の説明・広報活動を行いました。

また、教育研究助成金決定通知書の伝達などにより、当支部への理解と、LCの支援に努めてきました。

毎月1回参事打合せを行い、当支部の事業周知・教弘保険拡大・学校の状況・ジブラルタ生命各営業所の現況認識等について協議・研修しています。

## VI 広報活動

当支部の事業の発展を目指し、「教弘会報埼玉」等を発行し、教育的な共感をよぶ記事を中心に、事業内容を幅広く紹介し、教弘保険加入者の一層の拡大を図る広報活動を推進しました。特に、会員へのタイムリーな情報提供等を進めるために、令和4年度からは「教弘会報埼玉 かわらばん HAPPY VOICE!」を創刊しました。

### 1. 編集方針

- (1) 当支部の事業の発展を目的とする。
- (2) 当支部の事業内容を幅広く具体的に紹介する。
- (3) 生き生きとした教育に関する記事の掲載に努める。
- (4) 多くの教職員の記事を掲載し、親しみのもてる紙面づくりに努める。
- (5) モニターの一層の組織化を進める。
- (6) 「新型コロナウイルス」感染拡大に伴い、記事の見直し・変更を行う。

## 2. 作成広報物

### (1) 「教弘会報埼玉」

号数	発行日 (部数)	主な内容	
257 (新年度 スタート号)	令和4年 4月12日 (56,400)	支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	おかげさまで、70年 ～日教弘は、創立70周年を迎えます～ さいたま市立常盤小学校 令和4(2022)年度 弘済会埼玉支部事業計画 令和4年度 参事のご紹介 日教弘の会員になりましょう！ 令和4年度「教育実践報告」の募集
258 (2022 夏号)	令和4年 6月17日 (56,400)	支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	教弘会報埼玉「かわらばん HAPPY VOICE!」の創刊 ～たくさんの幸せな声を届けます～ 埼玉県立小川高等学校 令和4年度 幹事・監査の紹介 令和4年度 新運営委員の紹介 日教弘の会員になりましょう！ 教弘まなびやスーパープラン
259 (新秋号)	令和4年 8月24日 (56,400)	副支部長挨拶 学校 NOW 記事 募集案内	経験を積む 宮代町立百間小学校 弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート 日教弘の会員になりましょう！ 生涯生活設計セミナーのお知らせ
260 (教育研究 助成特集 号)	令和4年 11月28日 (56,400)	常任幹事挨拶 記事 募集案内	子どもたち・教職員・学校への支援の充実をめざして 新設校記念品贈呈 教育研究助成金贈呈式並びに教育講演会 教弘まなびやスーパープラン/団体扱自動車保険
261 (新年号)	令和5年 1月11日 (56,400)	支部長挨拶 学校 NOW 記事	可愛がっていただけるように！！ 埼玉県立戸田かけはし高等特別支援学校 教育実践報告並びに生涯学習実践作文表彰式 生涯生活設計セミナーを開催しました
262 (春うらら号)	令和5年 2月22日 (56,400)	副支部長挨拶 学校 NOW 募集案内	誰もが自分に「おめでとう」 伊奈町立小針中学校 日教弘の会員になりましょう！ 教弘まなびやスーパープラン/団体扱自動車保険

※各号点字版7部発行

### (2) 「教弘会報埼玉かわらばん HAPPY VOICE!」

号数	発行日 (部数)	主な内容
1	令和4年 5月10日 (56,400)	頑張れ！！ 給付奨学生 みんなの広場 日教弘の会員になりましょう！
2	令和4年 10月17日 (56,400)	夏クイズ2022 クイズ当選者発表！ 弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート みんなの広場
3	令和5年 1月11日 (56,400)	弘済会埼玉支部 PRESENTs ハートフルコンサート 頑張れ！！ 給付奨学生 みんなの広場

※各号点字版7部発行

(3) 「弘済会埼玉 友の会だより」

号数	発行日 (部数)	主な内容	
69	令和4年 9月1日 (16,900)	会長挨拶 記事 募集案内	人生100年時代、カギとなるのは「70代の10年間」！ 令和4年度 弘済会埼玉友の会全県世話人会 支部総会実施報告及び中止の対応 教弘フルガード
70	令和5年 2月1日 (16,900)	副会長挨拶 記事 募集案内	＝趣味のすすめ＝興味あることを続けてみませんか 令和5年度 弘済会埼玉友の会の諸事業 令和5年度 弘済会埼玉友の会支部総会一覧 読者のページ 教弘フルガード/団体扱火災保険

(4) 「弘済会のご案内」	令和4年4月	24,000部発行
(5) 「宿泊施設の一覧」	令和4年4月	86,000部発行
(6) 「弘済会事業一覧」	令和4年4月	90,000部発行
(7) ポスターカレンダー	令和4年4月	3,100部発行
(8) 「夏クイズ2022」	令和4年6月	56,400部発行 ※点字版7部発行
(9) 卓上カレンダー	令和4年11月	29,915部発行

資料 1

令和3年度・令和4年度 教育振興事業選考委員会 委員名簿

氏名	所属・職名
山本 和人	委員長 東京家政大学名誉教授
赤松 峰親	副委員長 元埼玉県立熊谷高等学校校長
金田 佳子	元本庄市立北泉小学校校長
野口 浩	元さいたま市立与野東中学校校長
伊藤 えつ子	元埼玉県立八潮高等学校校長
須郷 恵子	元さいたま市立蓮沼小学校校長

(順不同・敬称略)

## 資料 2

### 令和4年度 教育実践報告審査委員会 委員名簿

氏名	所属・職名
堀田 香織	委員長 国立大学法人 埼玉大学教育学部長
宮本 典行	副委員長 埼玉県立総合教育センター総合企画長
山田 浩一	上尾市立上平小学校校長 (埼玉県公立小学校校長会副会長)
伊藤 潔	上尾市立上尾中学校校長 (埼玉県中学校長会副会長)
内田 正俊	埼玉県立豊岡高等学校校長 (埼玉県高等学校長協会理事)
竹井 彰彦	埼玉県立熊谷特別支援学校校長 (埼玉県特別支援学校長会副会長)
三橋 勝美	埼玉県教職員組合書記局員
伊藤 稔	埼玉県高等学校教職員組合専門委員

(順不同・敬称略)

## 資料 3

### 令和3年度・令和4年度 生涯学習実践作文審査委員会 委員名簿

氏名	所属・職名
山本 和人	委員長 東京家政大学名誉教授
大磯 宏	副委員長 元所沢市立所沢小学校校長
渡邊 秀昭	元埼玉県立川口北高等学校校長
小川 三代子	元加須市立三俣小学校校長
加藤 美幸	元朝霞市立朝霞第二小学校校長
伊地知 幸子	埼玉県PTA連合会事務局長
島崎 育夫	埼玉県高等学校PTA連合会事務局長

(順不同・敬称略)